

介護保険サービスに関する利用意向調査

世帯状況 (P3)

- 世帯状況については、「夫婦ふたり暮らし（夫婦ともに 65 歳以上）」(34.6%) が最も多く、次いで「家族（子ども、孫など）と同居」(31.8%)「ひとり暮らし（単身世帯）」(28.0%)。

介護者について (P4-6)

介護保険サービスを利用していない人の半数が家族・親族から介護を受けている。
また、そのうち約 5 割が高齢者から介護を受けている。

- 調査対象者を介護している家族や親族について、「いる」(55.1%)「いない」(43.9%) となっている。
- 主な介護者の続柄については、「配偶者」(42.4%) が最も多く、次いで「子(娘)」(27.1%) 「子(息子)」(16.9%) となっている。
- 主な介護者の年齢については、「65～74 歳」(37.3%) が最も多く、次いで「40～64 歳」(23.7%) 「75 歳以上」(22.0%) となっている。

かかりつけ医等の有無について (P13-15)

ほぼすべての回答者がかかりつけ医が「いる」と回答している。

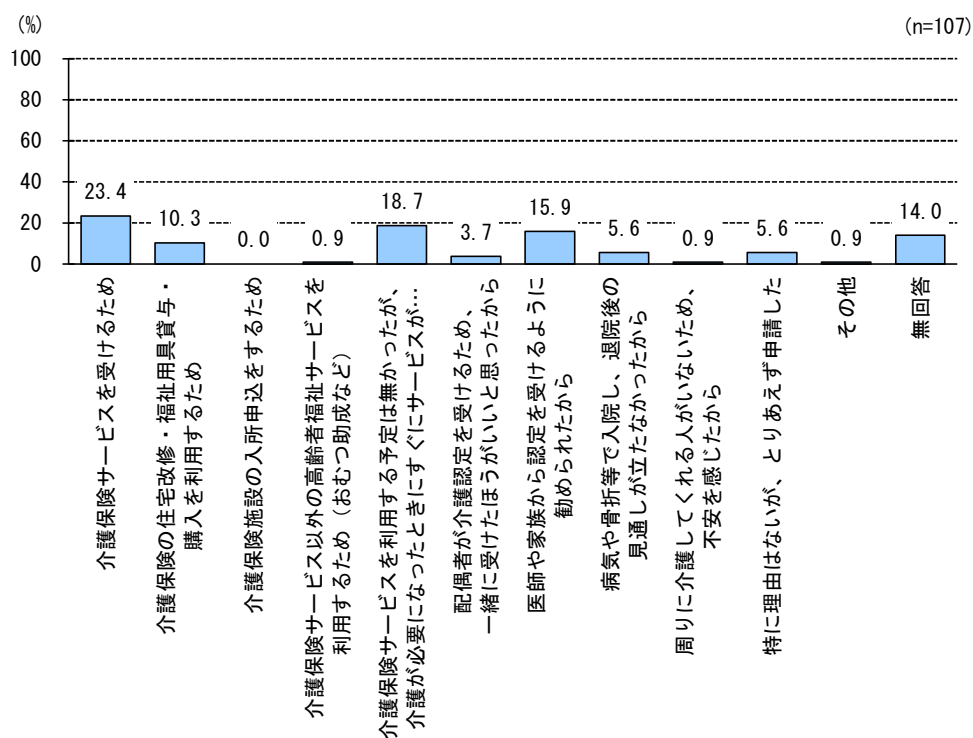
- かかりつけ医 「いる」 96.3%、「いない」 0.9%
- かかりつけ歯科医 「いる」 69.2%、「いない」 23.4%
- かかりつけ薬剤師 「いる」 57.9%、「いない」 29.9%

介護保険サービスに関する利用意向調査

初めて介護認定申請をした理由 (P18)

いわゆる「お守り認定」が2割程度となっている。また、他人に勧められて認定を申請した人が多くなっている。

- 初めて介護認定申請をした理由については、「介護保険サービスを受けるため」(23.4%) が最も多く、次いで「介護保険サービスを利用する予定は無かったが、介護が必要になったときにすぐにサービスが利用できるよう、念のため認定だけ受けた」(18.7%) 「医師や家族から認定を受けるように勧められたから」(15.9%) となっている。



要介護認定を受けるように勧めた相手 (P20)

- 要介護認定を受けるように勧めた相手については、「ご家族・親戚」(39.3%) が最も多く、次いで「かかりつけの病院の医師・看護師・薬剤師など」(20.6%) 「友人・知人・近所の人」(6.5%) となっている。「自分で判断した」は5.6%とほとんどの人が誰かに勧められて要介護認定を受けている。

現在の介護保険以外のサービスの利用状況 (P24)

- 現在の介護保険以外のサービスの利用状況については、「利用していない」が70.1%。利用しているサービスは「移送サービス (介護・福祉タクシー)」(4.7%) 「配食サービス」(3.7%) となっている。

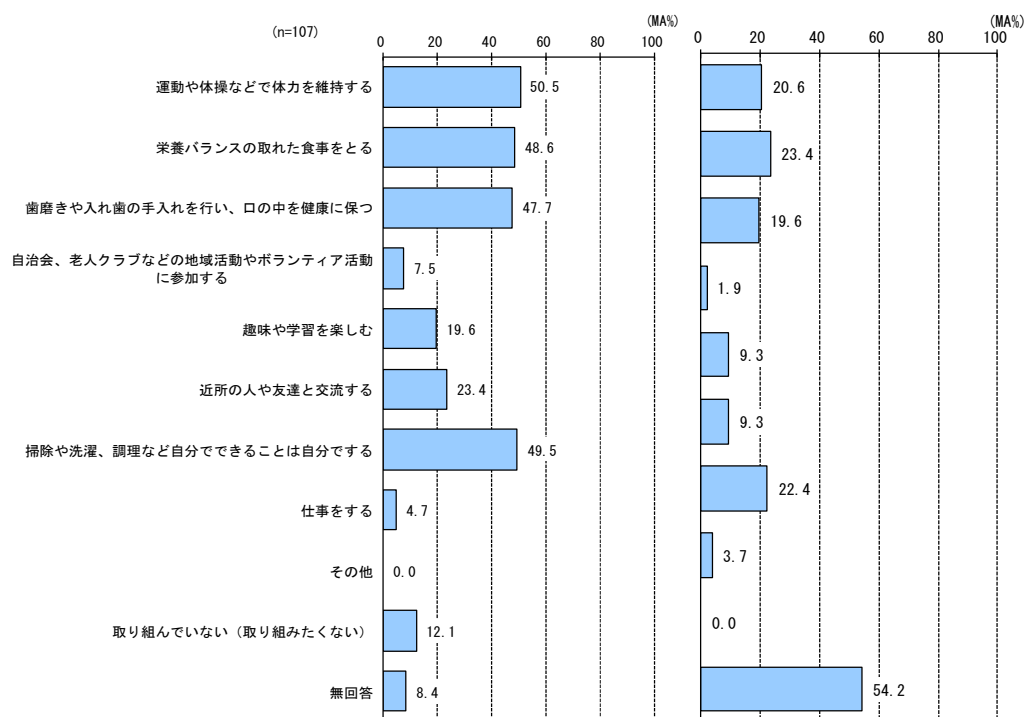
介護保険サービスに関する利用意向調査

今後受けたい介護（P29-31）

- 今後受けたい介護については、「自宅で生活しながら介護サービスを受けたい」(65.4%) が最も多く、次いで「施設などに入所（入居）してサービスを受けたい」(9.3%) となっている。
- 自宅で利用したい介護サービスについては、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(42.9%) が最も多く、次いで「福祉用具貸与」(28.6%) 「訪問看護」(25.7%) となっています。

介護予防への取り組みについて（P36-39）

【現在取り組んでいること】 【今後取り組んでみたいこと】



介護を負担に感じていながら介護保険サービスを利用しない理由（P46）

約半数ができる限り介護保険サービスに頼らない生活を希望している。

- 介護を負担に感じていながら介護保険サービスを利用しない理由については、「できるだけ他人の世話になりたくないため」(48.4%) が最も多く、次いで「本人が介護保険サービスを利用したからないから」「介護保険サービスの利用料金が負担であるため」(25.8%) となっている。